

# とっとり農業会議情報

第 53 号  
発行:平成29年 1月31日  
編集:一般社団法人  
鳥取県農業会議

## 主 な 内 容

- ◇ 農地の利用最適化に係る市町村及び農業委員会担当者会議(12月13日) . . . 2 頁
- ◇ 農地情報公開システム研修会(12月26日) . . . 2 頁
- ◇ 県稲作経営者会議役員会(1月16日) . . . 2 頁
- ◇ 県農業者年金連盟研修会(1月30日) . . . 2 頁
- ◇ **トピックス** 第7回北栄アグリフォーラム (1月14日) . . . 3 頁
- ◇ 平成28年度全国農業委員会会長代表者集会に参加 (12月1日) . . . 4 頁
- ◇ 平成28年度農業者年金加入推進セミナーに本県からも参加 (11月30日) . . . 4 頁

## 委嘱スペシャリスト等農業関係研修会 (12月6日)

本会は平成28年度農業法人設立・経営力向上支援事業に係る「委嘱スペシャリスト等農業関係研修会」を12月6日、湯梨浜町の水明荘で開催した。特に今回は、県と県農業農村担い手育成機構と本会の共催とし、スペシャリストとして委嘱している税理士、司法書士、社会保険労務士、中小企業診断士をはじめ、県農業法人協会、県稲作経営者会議の会員や農の雇用事業を実施している農業経営者にも呼びかけ、86名の参加があった。

当日は、熊本県で、農業経営改善スペシャリストやよろず支援拠点のコーディネーターとして活躍されている(株)コンサルタントブレイン代表取締役の西原哲朗氏から「農業の人事労務管理のノウハウ～優秀な人材の採用、経営に貢献する人材育成のポイント～」と題して講演があった。熊本県で県よろず支援拠点のコーディネーターとして、延べ745人もの経営改善相談に従事された体験を元に講演され、参加者は熱心に聞き入っていた。次いで、本事業を活用して法人設立された(株)エイト代表取締役岩田正氏、(株)優裁代表取締役松本洋一氏から、それぞれ法人化の経緯や経営の取り組みについて話があった。



(株)コンサルタントブレイン 代表取締役 西原 哲朗 氏



(株)エイト 代表取締役 岩田 正 氏



(株)優裁 代表取締役 松本 洋一 氏

## 農地の利用最適化に係る市町村及び農業委員会担当者会議

(12月13日)

12月13日、倉吉市「伯耆しあわせの郷」で、県の主催で市町村及び農業委員会事務局担当者会議が開催された。当日は関係者84人が出席し、①農地の利用最適化に係る課題と今後の取り組みについて、②遊休農地対策の流れについて、③遊休農地対策の現場の動き等について、④従来制度（耕作放棄地再生利用緊急対策交付金）の実績・事例について、⑤耕作条件改善事業について説明があった。特に、遊休農地対策を進めていく上では、利用状況調査、利用意向調査の情報共有を図り遊休農地の解消に係る国の事業等の活用が必要であることから、土地改良事業制度についても承知し、これと連携していくことが求められる。

## 農地情報公開システム研修会(12月26日)

本会は農地情報公開システムフェーズ2への移行に関する研修会を12月26日、湯梨浜町の水明荘で開催した。市町村農業委員会職員ら32人が出席し、インターネット上で公開される農地台帳情報の公開に伴う「全国農地ナビ」のデータ提供・収集などについて研修した。

「全国農地ナビ」は平成27年度から全国の農業委員会の農地台帳を一元的に集約し、地図情報に併せて一般公開している。本年度からは第2段階として情報の即時更新性を高め市町村内部や関係機関での台帳情報の活用を図り、農地利用最適化の推進に繋げるシステムの整備や移行作業が進められる。また、新たな農業委員会体制において、農地利用最適化交付金に係る報酬条例についての説明もあった。農地法の改正に伴う農地転用許可の県農業会議への意見聴取について意見交換した。

## 鳥取県稲作経営者会議役員会(1月16日)

鳥取県稲作経営者会議（高虫秀樹会長）の役員会が1月16日に、倉吉市内のホテルで開催され今後の活動計画について協議され、総会が3月9日、水明荘で開催することが決定。同日、収入保険制度などについて研修と意見交換を行うこととした。

## 鳥取県農業者年金連盟研修会(1月30日)

県農業者年金連盟（土井寛会長）は1月30日、湯梨浜町の水明荘で研修会を開催し、農業者年金受給者の組織や農業委員会事務局職員ら52名が出席し熱心に研修を受けた。冒頭、北栄町の近藤貞裕氏へ県年金連盟永年勤続役員感謝状の贈呈があった。研修では、倉吉市在住の



県農業者年金連盟 会長 土井 寛 氏



「心の元気パートナー オフィスうたことば」

代表 石川 達之 氏

「心の元気パートナー オフィスうたことば」代表の石川達之氏が「救急現場が教えてくれた心を元気にする方法」と題して講演。学んだ心理学と消防士の経験をきっかけに、メンタルヘルスなど「心」をテーマにした歌入りの講演で、ユーモアも含め楽しく会員へ語りかけた。

## トピックス 第7回北栄アグリフォーラム(1月14日)

「第7回北栄アグリフォーラム(主催＝北栄アグリフォーラム実行委員会・鳥取中央農業協同組合・北栄町)」が1月14日、北栄町由良宿「北栄町大栄農村環境改善センター」で開催され、北栄町の農業者ら約187名が参加した。北栄町では、北栄町農業振興基本計画を策定し、「夢と希望が持てる農業のまち」を基本理念のもと、農業者をはじめ、町民みんなが農業のまち北栄町として、ふるさとに誇りを持って次の世代へ繋げていくことを目指している。フォーラムは、この



実行委員長の永田恭彦 農業委員



発表者の生橋 巧 農業委員

計画に掲げられている「所得を増やそう」、「安定して高品質な農畜産物をつくろう」、「安全・安心でおいしい農畜産物を食べよう」、「自然にやさしい農業をめざそう」、「みんなで農業に関わろう」、「農業のすばらしさを知ろう」という目標へ向けて、日々活躍している団体等の日頃の取り組みや今後の活動を広く町民のみなさんに向けてPRすることを目的に開催された。

冒頭、主催者を代表して、実行委員長で農業委員の永田恭彦氏と北栄町長の松本昭夫氏が開

会挨拶。今年のフォーラムでは、「これがわたしの生きる道」をテーマに、自慢の農産物(大栄スイカ、らっきょう、北栄ぶどう、肥育牛、中玉トマト、梨、干柿、ワイン、加工品)のとおきのお話を8名と7加工団体が発表PRした。大栄梨果実部からは農業委員の生橋巧氏が「梨に風 ジョイント・穂木と 新甘泉」と題して発表。女性農業委員の竹信啓子氏も加工グループとしてPRした。また、昨年、産地活性化の拠点施設として北栄町と鳥取中央農業協同組合が

共同出資で設

立した(株)北栄ドリーム農場のいちごの紹介や、「自慢の農産物が当たる!お楽しみ抽選会」もあり会場が盛り上がった。フォーラムの最後には「町民一人ひとりが『北栄町農業応援団』の一員となり、ふるさとの素晴らしさをより深く理解し、ふるさと北栄町に誇りをもって次の世代に繋げていくことを目指しましょう。」と参加者みんながフォーラム宣言をして閉会した。



フォーラムの様子



### 平成28年度全国農業委員会会長代表者集会に参加（12月1日）

全国農業委員会会長代表者集会が12月1日、東京都の「メルパルクホール」で全国から約1,000人が参加して開催された。本県からも本会の川上一郎会長や13市町村の農業委員会会長ら18人が出席。第1部では、「農地利用の最適化を加速させよう」をテーマに、岩手県北上市農委小笠原事務局長、栃木県栃木市農委大橋会長、福岡県糸島市農委藤井会長、にいがた女性農委の会笠原会長の4名をパネリストに、東京大学安藤光義教授、秋田県農業公社三浦庄助理事長を助言者にパネルディスカッションがあり、農地利用の最適化の推進と情報提供活動の一層の強化に向けた申し合わせが決議された。第2部で農地利用の最適化に向けた施策推進に関する要請が決議された。

### 平成28年度農業者年金加入推進セミナーに本県からも参加（11月30日）

平成28年度農業者年金加入推進セミナー（全国農業者年金連絡協議会、一般社団法人全国農業会議所主催）が11月30日、東京都の「砂防会館」で全国から農業者年金受給者組織の代表者らおよそ650人が集まって開催され、本県からも鳥取県農業者年金連盟（土井寛会長）の代表者ら18人が参加した。セミナーでは、「食はいのち～足元の宝、ふるさと料理～」と題して、ふるさと料理人の藤清光氏が記念講演。その他、加入推進に関する活動事例報告、情報交換と「農業者年金の加入推進と「のうねん倶楽部」の組織活動強化」に関する申し合わせが行われた。

#### < 常設審議委員会だより >

##### 第9回常設審議委員会（平成28年12月21日開催）

- 議 事 ・農地法第4条意見聴取 1件 135㎡  
 ・農地法第5条意見聴取 4件 5,110㎡
- 協議報告 ○平成28年度全国農業委員会会長代表者集会の開催について  
 ○農地利用の最適化に関するモニターの選定について  
 ○農地中間管理事業のPRビデオについて

##### 第10回常設審議委員会（平成29年1月21日開催）

- 議 事 ・農地法第4条意見聴取 1件 1,363㎡  
 ・農地法第5条意見聴取 3件 3,756㎡
- 協議報告 ○平成28年度農地関係予算概算決定の概要について

#### 農業会議関係会議等予定（平成29年2月～3月）

2月21日(火) 第11回常設審議委員会<水明荘>  
 23日(木) 農業委員会特別研修大会<カピタルホール>  
 28日(月) 農業委員会職員研修会<県立農大>

3月上旬 第4回理事会  
 9日(木) 県稲作経営者会議総会  
 3月21日(火) 第12回常設審議委員会<白兔会館>  
 " 農業会議臨時総会<白兔会館>

【編集後記】本年7月、県内19市町村の内15市町村で農業委員会が新たな体制へ移行します。すでに農業委員、農地利用最適化推進委員の公募が始まっている市町村がありますが、概ね5月上旬には公募が終了し、6月の市町村議会にて農業委員の任命同意を得ることとされています。そして、農地利用最適化推進委員が新体制の農業委員会から委嘱されることとなります。本会は市町村農業委員会への支援として新たな体制づくり、研修に尽力してまいりますので、よろしく願いいたします。(K)